

古賀満明先生の瑞宝中綬章叙勲受賞のお祝い

杉原 三千代

瑞宝中綬章の叙勲受章おめでとうございます。お祝い申し上げます。

先生の長年のご功績が認められたことは、まことに喜ばしい限りです。先生の経歴等については、久原会の皆様の方がよくご存じだと思いますので、私は先生との思い出を通し感謝の意を表し、お祝いの言葉にしたいと思います。

先生とは二度一緒に勤務させていただきました。私が平成9年国立長崎中央病院(現在の長崎医療センター)に看護師長として配置換えになり中病棟の配属になりました。着任した日副看護部長さんに道を挟んだ平屋の建物に案内され、病棟医長として在職されていた先生に出会いました。「メガネをはずして。」「車は何に乗っているの。」が、最初の私への声掛けでした。仙人のような風貌で何故そんなことを?と怪訝に思ったと同時に、今に言う“イケオジ”だと思ったことを覚えています。ちょうど二交替制勤務が導入されたばかりで、労働組合ともいろいろともめていた頃です。前施設で二交替制勤務の導入に関する研究に係わっていたので、これから先が大変だなと頭を抱えました。中病棟はいつもモデルにならなければいけない役割があるようで、私は常に気を張っていたように思います。しかし、古賀先生の一声で先生方、スタッフともに協力的

で、順調に定着させることができ、うまく事を運ぶことができました。

患者さんからも慕われ、「何より先生の顔を見るのが何よりの薬だ。」と言われる患者さんが多くいました。

二度目は平成 21 年嬉野医療センターの看護部長に昇任した時でした。

院長先生と看護部長という立場での再会でしたので、喜びもひとしおでした。

主観的ではなく客観的データで物事を論じることを教えられました。経営について深く学んだのもこの頃です。当時の院長室には、アルカイクスマイルの絵画が飾ってあり、毎日報告に行くたび、その絵を見ることで心が癒されました。

なんでも相談できたし話を聞いてくださり、やさしくも厳しさをもってご指導いただいたことに感謝しております。

今後ともどうぞご健康で、ますますご活躍されることをお祈りしております。

いろんな趣味を楽しみながら“粹に”過ごしてください。まことに叙勲受章おめでとうございました。